

10月中旬配本予定

写真批評

THE PHOTO REVIEW
復刊 第2号
2024年10月



表紙作品: 竹下修平「ティエラの肖像#1」

[特集] 写真について語ること

東京総合写真専門学校の創設者であり、写真評論家として活躍した重森弘淹によって1973年4月に創刊された批評誌『写真批評』。批評の場の再構築を目指す、復刊第2号。

[巻頭言]『写真批評』編集長 深川雅文「君は、自転車で走るパンダを見たか？」

INSIGHTS

[インタビュー & ワークス]ルーカス・ブレイロック / 聞き手=北桂樹
写真というメディアを通して考え、そのカテゴリーで遊ぶ

[特集] 写真について語ること

[フォーラム1] 批評家、清水穰に聞く 清水穰 × 深川雅文・河島えみ・北桂樹
“写真” 何について語るのか？

[フォーラム2] 写真家、土田ヒロミと伊奈英次に聞く 土田ヒロミ × 伊奈英次
変化する写真の世界、どう対応するのか？

[邦訳論文] ジョン・シャーカフスキー (訳=河島えみ)
「鏡と窓— 1960年以降のアメリカ写真」(1978年)

[[鏡と窓] 解題] 中川裕美
“明快な間違いはあいまいな真実よりも教育的なものとなるだろう。”と
ジョン・シャーカフスキーは言った。

スペクトラム

[書評1] 小田原のどか: 金井直『像をうつす—複製技術時代の彫刻と写真』
写真から彫刻をうつす: 日本初となるブランクーシの美術館個展を手掛かりに

[書評2] 小林美香: 村上由鶴『アートとフェミニズムは誰のもの?』
「そもそも」から話を始めることの大切さと「たこつぼ」化に抗うこと

[書評3] 新井悠真: 成相肇『芸術のわるさ コピー、パロディ、キツチュ、悪』
写真とパロディをめぐる裁判と著作権法の行方

[展評1] 深川雅文: 小松浩子個展「Channeled Drawing」 ある転回

[展評2] 北桂樹: GC magazine
「KILLER “G” 2nd Running alone pushin “G” Big Bang!! high ACE」
GC magazine が示す写真コレクティブの可能性

[展評3] 藤本流位: アニー・フローレス個展「What it should be... desire」
ポルノグラフィではない

[作家論] 小林紗由里: 高倉大輔「monodramatic」 シリーズの変遷をめぐって

[エッセイ1] 高橋奈々: それは複製可能なのか お笑いライブの現場でチェキを考える

[エッセイ2] 河島えみ: 詩人の批評 富岡多恵子とピーター・シェルダール

[エッセイ3] 北桂樹: 現代写真を語ることは 「写真とは何か」を語る困難と快楽

[リレーコラム・重森弘淹とは何者か] 柴田敏雄 重森弘淹先生との出会い

[新企画] ポケット写真批評



▶ご注文はツバメ出版流通まで **Fax: 03-3721-1922**

Tel: 03-6715-6121

E-mail: info@tsubamebook.com

http://tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	東京総合写真専門学校出版局 https://tcpypress.stores.jp/ 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通: 川人	
	冊	写真批評 復刊第2号 本体1,650円(10%税込) ISBN:978-4-908188-15-2 C0072
ご担当 様	冊	[既刊] 写真批評 復刊第1号 本体1,100円(10%税込み) ISBN:978-4-908188-14-5 C0072